

店紙草

耕書堂



『画本東都遊 三巻』享和2 (1802) 序 国立国会図書館デジタルコレクション

武庫川女子大学文学部

第2回 歴史

文化講座

令和6年4月より武庫川女子大学文学部に「歴史文化学科」が誕生。日本語日本文学科および英語グローバル学科(英語文化専攻、グローバル・コミュニケーション専攻)とあわせ、いよいよ3学科の体制が整います。これを記念して第2回歴史文化講座を企画しました。ぜひご参加ください。

参加費・事前申し込み不要

2023.10.28 [土]

午後1時～3時 12時30分受付開始

武庫川女子大学マルチメディア館メディアホール

(裏面地図をご覧ください)

【講演】小袖雛形本で読む江戸のデザイン

講師 京都芸術大学准教授 石上 阿希氏

【対談】江戸時代の出版事情

パネリスト 石上 阿希氏

羽生 紀子氏(日本語日本文学科教授)

コーディネータ 加茂 瑞穂氏(日本語日本文学科助教)

※講演開始に先立ち本学日本舞踊部学生が舞踊を披露します



「茶平絹地椿枝垂柳掛軸模様小袖」 18世紀 ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46(中央キャンパス)

【お問合せ先】 hc1@mukogawa-u.ac.jp

講演要旨 江戸のデザインを読み解く

江戸時代、人々はどのような小袖を着ていたのでしょうか。当時、小袖雛形本という書物がありました。小袖の背面図に意匠や色、染織技法などの提案を書き記したファッションブックです。本講演では、浮世絵師西川祐信が描いた雛形本『正徳ひな形』（正徳3年／1713）を絵本や小説、風俗画とともにながめながら、江戸のデザインを読み解いていきたいと思ひます。

講師

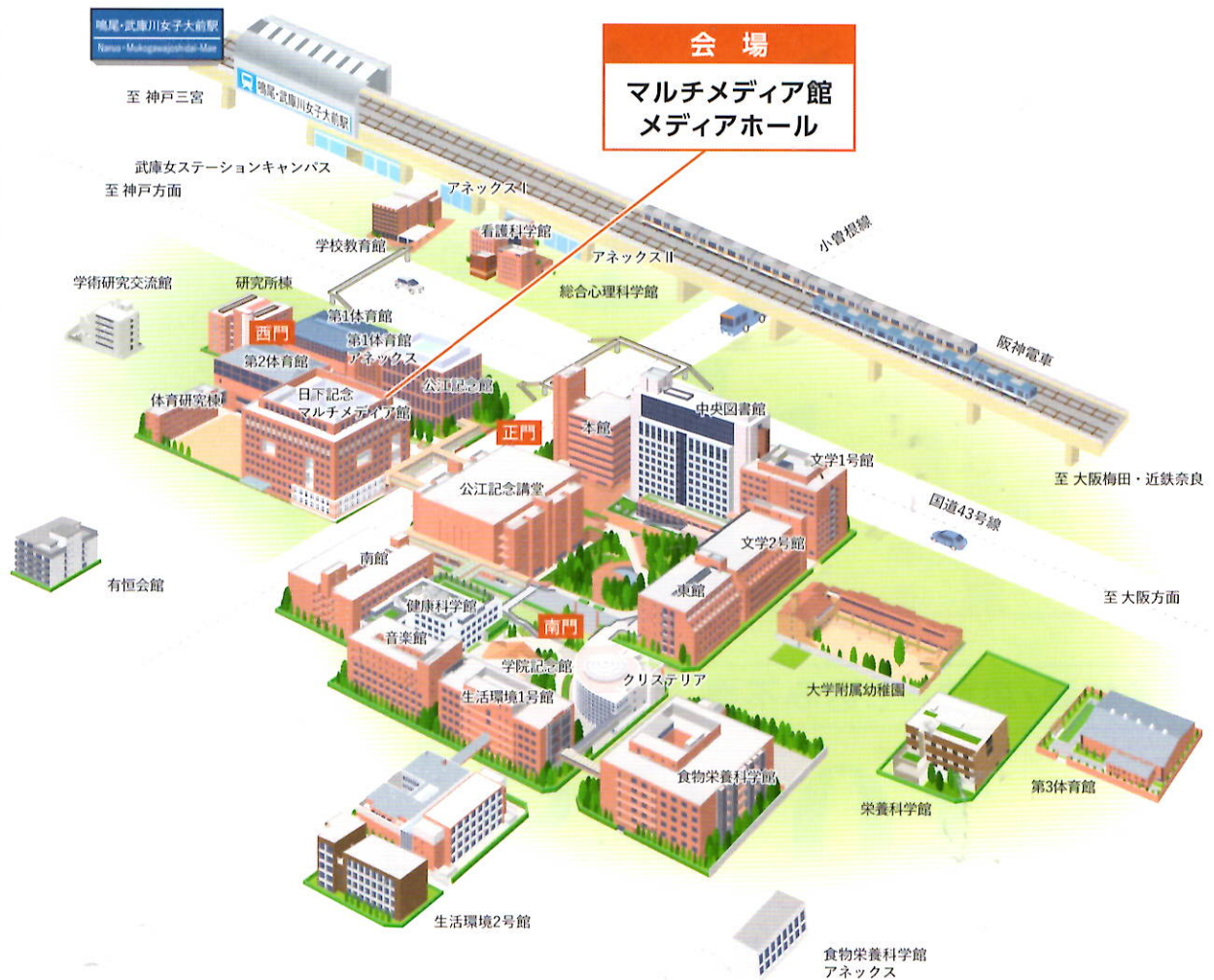
京都芸術大学准教授
石上 阿希氏



【講師略歴】

立命館大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期課程修了。博士(文学)。京都芸術大学通信教育部准教授。専門は近世文化史。著書に『江戸のこぼ絵事典—「訓蒙図彙」の世界—』(2021年、KADOKAWA)、『西川祐信「正徳ひな形」—影印・注釈・研究—』(2022年、臨川書店)など。

会場のご案内



公共交通機関をご利用の場合

阪神本線「鳴尾・武庫川女子大前」下車、南東へ徒歩約8分

会場へは西門をご利用ください。 ※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

